

とう どう よう いち 東堂陽一



県議会報告

No.31

令和2年1月18日号

お祝いムードが続いた令和の時代の始まりの昨年、同時に災害の多発した一年でもありました。本年は災害に強い県土づくりと、各種災害を引き起こす大きな要因である地球温暖化に更に真剣に取り組む一年としなければなりません。

令和元年 12月県議会定例会

リニア新幹線水減少問題が議論の中心

知事の所信表明(箱物行政にならないように)

東静岡駅南口に整備する「文化力の拠点」の整備計画が進められます。老朽化が進む県立中央図書館を全面移転し、この図書館を中心に「新しい知的空間」「大学コンソーシアムの拠点」「AI・ICTの拠点」「食・茶・花の都」の5つの機能の施設を先行整備することとしています。また、「遠州灘海浜公園篠原地区の整備計画」については、野球場等のスポーツ施設やレクリエーション施設を整備することについて、県民の皆様からのアンケート結果報告がありました。今後、複数のプランを作成し、県議会・県民の皆様のご意見を伺いながら、基本計画の策定を進める予定です。県営野球場をエコパへと言う私の提案は採用されそうにありませんが、これらの施設が箱物行政にならないように、これまで同様目を光らせてまいります。

補正予算の決定

上記に加え、豚コレラ対策、東京2020オリンピック・パラリンピック開催時の外国人旅行者等の誘客推進、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催準備(聖火リレーの実施等)、静岡社会健康医学大学院大学(仮称)の開学に向けた既存施設(旧静岡県赤十字血液センター)の改修工事などの事業の補正予算を決定しました。



台風15号及び19号による災害への対応

災害復旧、農業被災者支援、被災者支援、水害減災対策などに27億2,000万円を決定しました。

各地を回る



掛川市ふれあい広場

49の福祉関係団体等が参加協力
(元年10月20日 掛川市生涯学習センター)



掛川未来創造部、愛称はPalette

全国初の文化系地域部活
(元年10月27日 大日本報徳社)



忍者がおもてなし

第1・第3日曜日を中心に活動中
(元年11月3日 掛川城付近)



掛川商工まつり

1,000人分のチョークを用意
(元年11月3日 掛川駅前通り)



掛川市フラワーフェスティバル

花いっぱいの日2日間
(元年11月9日 掛川市生涯学習センター)



掛川消防フェスタ

親子連れに大人気
(元年11月9日 掛川市消防本部)



令和元年9月27日 静岡県議会本会議の一般質問 (質問者 議席番号36番 東堂陽一)

9月定例会でリニア新幹線、多文化共生、農業振興、防災対策について質問をしました。
前号に引き続き質問と答弁の要旨を報告いたします。

9月定例会
一般質問動画

4. 静岡茶の販路拡大と生産者への支援について

Q お茶の生産者の経営状況はますます厳しくなっています。「このまま来期も生産を続けるかどうか、県内の多くの生産者が岐路に立たされている」という新聞記事も見られました。新たな需要を喚起し、静岡茶の販路を拡大していくことが重要です。また、流通販売者と連携した確実な販路の確保などについて支援することが考えられます。日本一を誇ってきた静岡茶が危機にあります。茶業関係団体などとも連携し、スピード感を持って対応すべき。

A 答弁 農林水産担当部長 省略(東堂陽一ホームページに詳細があります。)

Q 再質問 これまでの対策では間に合わないのではないか。各種関係団体を巻き込んで思い切った施策展開をしないと大変な状況になる。1つ目は、思い切った茶業界の構造改革が必要だと思う。2点目は、需要喚起について、お茶は万能薬といえるような健康機能性があり、これをマスメディア等を使ってPRする。これは2年前にも一般質問で申し上げたが、関係団体などと連携し、県庁が主体になってPR戦略を考えたらどうか。

A 答弁 農林水産担当部長 生産者や茶商、あるいはいろんな団体としっかりと検討していくようなことも進めてまいりたいと考えています。それから、需要喚起のためのPR、議員からご提案がありましたように、いろんな効能をしっかりといろんな媒体、マスメディアも使い、関係団体とともにPRしていくことが大事だと思いますので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

5. 農作物の鳥獣被害対策について

Q 私の地元である中遠地域は農業の大変盛んな地域ですが、最近ではイノシシの生息域が山間部のみならず海岸部の方にまで広がっており、地域の農業者の方々は軒並み被害対策に頭を悩ませているところです。県の報告によりますと、野生鳥獣による農作物への被害額はかなり減少しているとの報告です。しかしながら、この報告は、現場での農業者の方の実感と、必ずしも一致しているとは言えません。現場の農業者の方の声に耳を傾け、地域の状況をきちんと知ることが必要です。そして、農業者が安心して生産活動に取り組めるよう、地域の実状に即した、よりきめ細やかな対策を実施することが重要であると考えます。

A 答弁 農林水産担当部長 県では、昨年度モデル的に実施した集落ごとのアンケート調査を、本年10月から全県で実施いたします。この調査により、集落単位や獣種単位のより詳細な被害状況を把握し、被害の大きい地域から先行して侵入防止柵の設置を進めるなど、市町と協力して地域の被害状況に即応した対策につなげてまいります。このほか、捕獲従事者の労力軽減も課題となっておりますことから、現在、ICTわたの設置支援を進めております。

Q 再質問 どんなことを聞いて、どんな対策を立てるのか、アンケートの中身やどんな対策を想定しているのか伺う。

A 答弁 農林水産担当部長 省略(東堂陽一ホームページに詳細があります。)

視察報告です



北海道胆振東部地震被災地
いまだ傷跡癒えぬが復旧作業が進む
(元年10月7日 北海道勇威郡厚真町)



開港120周年、発展する清水港
現況を海上から視察しました
(元年10月21日 清水港)



ベトナムダナン市との地域外交
ダナン市人民委員会を表彰訪問
(元年11月15日 ダナン市市役所)

お知らせ

東堂陽一のホームページもご覧下さい。

パソコン・スマホ(インターネット) → 東堂陽一を入力 → ホームページをクリック



6. 農業用ため池の防災対策及び適正な管理について

Q 農林水産省では平成29年6月に西日本で起きた未曾有の豪雨災害を受け、優先的に対策を進めるべき、「防災重点ため池」の再選定を都道府県に指示した結果、本県の「防災重点ため池」の総数は、168箇所から492箇所へと大幅に増加しました。「防災重点ため池」が3倍近く増加した状況を鑑みますと、耐震並びに豪雨対策が確実かつ迅速に実行されるのか大いに心配しているところです。さらに、本県のため池は、掛川市をはじめとする中遠地域に集中していることから、この地域の市町の負担軽減や支援体制も講じていかなければならないと考えます。

A 答弁 農林水産担当部長

県ではこれまで緊急度の高いため池216か所を選定し、耐震及び豪雨対策を推進しています。現在、全てのため池で対策に着手しており、これまでに約6割が完成しており、令和4年度の完了を目指しています。今回「防災重点ため池」に追加選定した比較的規模の小さいため池につきましては、県が市町に代わり対策工事を実施できる「ため池群整備事業」を積極的に活用し、多くのため池を管理する市町の負担を軽減してまいります。

D 要望

予算確保と中遠地域の市町の負担軽減策や支援体制の構築を要望。

静岡モデル防潮堤整備の進捗状況と、整備に必要不可欠な盛土材となる土砂の確保の状況及び、今後の見通しについて伺います。

A 答弁 交通基盤部長

静岡モデル防潮堤の整備に必要不可欠な土砂の確保につきましては、全体の必要土量約1,040万立方メートルに対し、昨年度までに約860万立方メートルの土砂を確保いたしました。残る約180万立方メートルにつきましては、今後、県の事業や新東名高速道路6車線化事業、さらには民間事業で発生する土砂の活用など、あらゆる手段を用いて、市町と連携した土砂の確保に努めてまいります。

D 要望

中東遠地域の土砂の確保を重ねて要望。



危機管理くらし環境委員会

リニア問題等を追究(元年10月1日 県議会第3委員会室)

7. 静岡モデル防潮堤の整備促進について

Q 沿岸域に暮らし、津波に対して不安を持っている住民や、沿岸域に工場等を持つ企業は静岡モデル防潮堤に期待を寄せており、一日でも早く完成することを強く望んでいます。しかしながら、静岡モデル防潮堤の整備計画は、大量の土砂を必要とするとともに、完成には長期の期間を要するのではないかと心配しています。そこで、

今回の私の質問項目

- ① リニア中央新幹線工事に伴う大井川の水量減少への対応
- ② 外国人材の活躍支援について
- ③ 帰国・外国人児童生徒に対する日本語教育の推進について
- ④ 静岡茶の販路拡大と生産者への支援について
- ⑤ 農作物の鳥獣被害対策について
- ⑥ 農業用ため池の防災対策及び適正な管理について
- ⑦ 静岡モデル防潮堤の整備促進について
- ⑧ 垂木川の河川改修における早期整備について

地域のふれあいまつり



はらや親水公園まつり

盛り上がる餅まき

(元年11月3日 原野谷川親水公園)



西郷ふれあいフェスティバル

果たして餅はつけたのか

(元年11月10日 西郷地域生涯学習センター)



フェスタおおぶち

記念すべき第1回目

(元年11月17日 大淵農村環境改善センター)

リニア中央新幹線建設工事に伴う問題への私の対応

リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川水系の水量減少などの課題解決に向けた静岡県とJR東海との話し合いは、なかなか前に進まない、というよりもむしろ、ややこしいことになっています。「命の水」をしっかりと守ると同時に、早い解決を目指します。

6月定例会委員会での質問・要望・意見

- ①リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の水問題等に関する最優先課題の認識
- ②市民、県民及び水利用者の不安の内容
- ③中間意見書に関し、現時点での最大の問題点
- ④中間意見書に関し、JR東海から納得できる回答が得られなかった場合の対応
- ⑤リニア中央新幹線建設工事に関し、国による調整についての所見
- ⑥質問や要望への回答に時間を要していることに関する所感
- ⑦リニア中央新幹線トンネル工事着工に係る静岡県の権限、など

9月定例会本会議での一般質問

Q リニア中央新幹線工事に伴う大井川の水量減少への対応について

質問内容の要旨については県議会報告30号で報告させていただきましたが、この様子が当日の静岡朝日テレビ「とびっきり!しずおか」でとりあげられました。その内容は「命の水」である大井川の水量減少問題への知事の対応を取り上げるとともに、川勝知事に厳しい意見を述べる事

多い私が所属する自民改革会議、そして私が発した「知事を頼りにしている」という発言を捉えていました。私は是々非々で知事へ対応しています。「良い事は良い。悪い事は悪い。」という発言は当然のことだと考えます。



静岡朝日テレビが取り上げる
(元年9月27日 県議会本会議場)



とびっきり!
しずおか
動画

9月定例会委員会での質問・要望・意見

- ①市町、団体等が開催するリニア中央新幹線に関する勉強会への説明者派遣要請の有無と対応の可否
- ②引き続き対話を要する事項に対する回答期限、など

リニア新幹線工事の勉強会に出席



静岡大学森下祐一教授の講演
(元年10月25日 静岡県庁会議室)

静岡大学森下祐一教授の「リニア中央新幹線による大井川への影響を最小限に!」の勉強会に参加しました。

会派選抜リニア新幹線現地視察隊

リニア新幹線の工事現場周辺を上空から視察。大井川、南アルプス、山梨県境、長野県境まで足を延ばしました。メンバーは野崎政調会長、佐地建設委員長、木内文教警察委員長、そして私の4人。机上の説明では



いざ出発
(元年11月2日 静岡ヘリポート)

分かりにくいところが視覚的にはっきりと捉えることが出来ました。上空から見ると南アルプスの山並みは随分脆弱に見え、その地下深くを通るリニア新幹線は難工事になるかもしれないという予感がしました。

掛川市生涯学習センターでのシンポジウムに協力

公開シンポジウムには、会場一杯の聴衆が訪れこの問題への市民の皆様の高さを実感しました。中央新幹線対策本部長の難波静岡県副知事による基調講演「リニア中央新幹線建設に係る大井川水問題の現状・静岡県の対応」と市民代表5人によるパネルディスカッションを通して見えてくるのは、言うまでも無く、「掛川市にとって命の水である大井川の水に水量減少などの悪影響が無い様にして欲しい。」ということでした。



難波副知事の基調講演
(元年12月3日 掛川市生涯学習センター)

演「リニア中央新幹線建設に係る大井川水問題の現状・静岡県の対応」と市民代表5人によるパネルディスカッションを通して見えてくるのは、言うまでも無く、「掛川市にとって命の水である大井川の水に水量減少などの悪影響が無い様にして欲しい。」ということでした。

12月定例会委員会での質問・要望・意見

- ①掛川市で開催されたシンポジウムの感想と今後の対応
- ②進まないJRとの対話を進めるための方法の提案、など



東堂陽一事務所 静岡県政に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒436-0225 掛川市家代65-1
TEL. 23-3091 FAX. 22-1141

E-mail: toudouyouichi@yahoo.co.jp
http://www.toudouyouichi.com/

